

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
専任	教授	学長	野田 智義	<p>京都市出身。東京大学法学部卒業後、日本興業銀行入行。マサチューセッツ工科大学(MIT) スローンスクールより経営学修士号(MBA)、ハーバード大学より経営学博士号(DBA)取得。ハーバード大学ジョン・F・ケネディ行政大学院特別生、ロンドン大学ビジネススクール助教授、スカンジナビア国際経営大学院客員教授、インシアード経営大学院(フランス、シンガポール)助教授を経て帰国。2001年7月、全人格リーダーシップ教育機関アイ・エス・エル(ISL、Institute for Strategic Leadership)を創設。米国型MBA教育のあり方を、日本とアジアから再構築し、グローバルに開かれた全人格リーダーシップ教育を実践する。ISLでの18年に渡る実践を基礎に、2017年学校法人至善館を設立、現在に至る。その他、公益社団法人経済同友会NPO・社会起業推進PT委員長(2011年)、同法人東北未来創造イニシアティブ協働PT委員長(2012年~2017年)、公益社団法人日本ユネスコ連盟理事(2011年~2016年)を歴任。</p> <p>専攻分野： リーダーシップ、経営政策、組織戦略</p> <p>受賞歴： 稲盛財団 イナモリフェロー (第二期)、INSEADにて最優秀教授賞を三期連続受賞 (2001年、2002年、2003年)</p> <p>主な研究業績・著書： 論文： "Strategy making as iterated processes of resource allocation"(共著[Joseph L. Bower]、1996年、Strategic Management Journal Vol.17, Issue S1) "Managing for Value: It's Not Just About the Numbers"(共著[Philippe Haspeslagh, Fares Boulos]、2001年、Harvard Business Review Vol. 79) "The Evolution of Intraindustry Firm Heterogeneity: Insights From a Process Study" (共著 [David J. Collis]、2001年、Academy of Management Journal Vol.44, No.4) "Leadership Begins with Leading Oneself"(2004年、Center for Creative Leadership, Leadership in Action Specail Issue: Leadership in Aisa Vol. 24) 他</p> <p>著書： "Getting the Real Value Out of Value-Based Management"(共著[Fares Bouls, Philippe Haspeslagh]、2001年、Harvard Business School Publishing, Boston, MA) 『競争戦略のダイナミズム』(執筆分担[監修:新宅純二郎、浅羽茂]、2001年、日本経済新聞社) 『リーダーシップの旅』(共著[金井壽宏]、2007年、光文社新書)他</p> <p>学位： 東京大学法学部卒業 (法学士) マサチューセッツ工科大学 (MIT) スローン経営大学院修士課程修了 (MBA) ハーバード大学経営大学院博士課程修了 (経営学博士 (DBA))</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
専任	教授	副学長/ 学術院長	吉川 克彦	<p>研究分野は、グローバル化、デジタル化の影響を受けて変化する今日の組織における組織行動、人材マネジメント。Journal of Management, Journal of Applied Psychology、Organization Studies, Journal of World Businessなど、世界的に有力な学術誌に研究論文を発表。また、Asia Pacific Journal of Management, Journal of International Human Resource Management等でレビューアーを務める。研究と教育の傍ら、多国籍企業に対して人と組織の課題に関するコンサルティングを提供、また、スタートアップ企業2社の顧問を務める。前職では、中国の上海交通大学の安泰経済与管理学院にて助理教授、リクルートにてコンサルティングディレクター、主任研究員などを務めた。京都大学経済学部卒、London School of Economics and Political Scienceにて経営学修士 (Distinction)、経営学博士号取得。</p> <p>専攻分野： 組織行動論、人的資源管理論、国際経営論</p> <p>受賞歴 - Best Reviewer Award, 2020 Annual Meeting of Academy of International Business - Palgrave Macmillan Best Paper Award, 2018 Annual Meeting of Association of Japanese Business Studies - Nominated for Best Paper Award in OB/HRM/OT, 2018 Annual Meeting of Academy of Management, International Management Division - Nominated for Carolline Dexter Award, , 2018 Annual Meeting of Academy of Management - Best Dissertation Supervisor Award (Master in International Business) at Antai College of Economics and Management at Shanghai Jiao Tong University (2018).</p> <p>主な研究業績・著書 - Kokubo, K., Yoshikawa, K., & Wu C.H. (2023). Facilitating transition from maternity leave to work for working mothers: A self-efficacy intervention study. Cambridge Prisms: Global Mental Health. - Yoshikawa, K., Wu, C. H., & Lee, H. J. (2022). Knowledge Sharing on Online Platforms within Organizations: An Interactionist Perspective on Generalized Exchange. Applied Psychology. - Weisman, H., Wu, C. H., Yoshikawa, K., & Lee, H. J. (2022). Antecedents of Organizational Identification: A Review and Agenda for Future Research. Journal of Management. - Lee, H.-J., Yoshikawa, K., & Harzing, A.-W. (in press2022). Cultures and Institutions: Dispositional and contextual explanations for country-of-origin effects in MNC “ethnocentric” staffing practices. Organization Studies. - Yoshikawa, K., Wu, C.-H., & Lee, H.-J. (2020). Generalized Exchange Orientation: Conceptualization and Scale Development. Journal of Applied Psychology, 105(3), 294–311. - Yoshikawa, K., Wu, C.-H., & Lee, H.-J. (2018). Generalized Social Exchange and Its Relevance to New Era Workplace Relationships. Industrial and Organizational Psychology: Perspectives on Science and Practice, 11(3), 486-492. - Yoshikawa, K., Kokubo, A., & Wu, C.-H. (2018). A cultural perspective on gender inequity in STEM: The Japanese context. Industrial and Organizational Psychology: Perspectives on Science and Practice, 11(2), 301-309. - Sasaki, I. & Yoshikawa, K. (2014). Going beyond national cultures – Dynamic interaction between intra-national, regional, and organizational realities. Journal of World Business, 49(3), 455-464.</p> <p>学位： 京都大学経済学部卒 (経済学修士) London School of Economics and Political Science修了 (経営学修士) (Distinction)、経営学博士号</p>
専任	教授	副学長	鵜尾 雅隆	<p>至善館副学長兼教授。至善館インパクトエコノミーセンター所長も務める。専門領域は社会的インパクトの創出と評価、インパクトビジネスやNPO、フィランソロピー、ファンドレイジング、国際協力など。JICA、外務省、米国NPOなどを経て2008年日本初のNPO・ソーシャルビジネス専門の戦略コンサルティング企業 (株) ファンドレックス創業、2009年日本ファンドレイジング協会を創設。課題解決先進国の実現に向けて、寄付やインパクト投資などの民間資金による課題解決を促進している。</p> <p>専攻分野： ファンドレイジング、インパクト投資、インパクト評価、インパクトビジネス、NPO経営</p> <p>学位： 慶應義塾大学商学部卒業 (学士 (商学)) 法政大学大学院経済学修士課程修了 (修士 (経済学)) 米国ケース大学 Mandel Center for Nonprofit Organizations 非営利組織修士修了 (修士 (非営利組織))、米国インディアナ大学 The Fundraising School Certiricat (Master of Nonprofit Organizations)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
専任	教授	副学長	枝廣 淳子	<p>東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。</p> <p>『不都合な真実』(アル・ゴア氏著)の翻訳をはじめ、環境・エネルギー問題に関する講演、執筆、企業のサステナビリティや人材育成、研修等の活動を通じて、地球環境の現状や国内外の動きを発信。持続可能な未来に向けて新しい経済や社会のあり方、幸福度、レジリエンス(しなやかな強さ)を高めるための考え方や事例を研究。「伝えること」で変化を創り、「つながり」と「対話」でしなやかに強く、幸せな未来の共創をめざす。</p> <p>また、システム思考やシナリオプランニングを生かした合意形成に向けての場づくり・ファシリテーターを企業や自治体で数多く務め、意志ある未来を描く地方創生と地元経済を創りなおすプロジェクトにアドバイザーとしてかかわっている。</p> <p>専攻分野： 持続可能性、地方創生</p> <p>受賞歴： (日経ウーマン主催)「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2004 キャリアクリエイティブ部門」賞受賞</p> <p>主な研究業績・著書： 論文： "Japan's Paradigm Shift From Growth To Happiness : Slowing Down to Advance Wellbeing" (邦題:「日本のパラダイムシフト: 経済成長から幸福へ」)(2008年、The Fourth International Conference on Gross National Happiness) "Letter from Japan" (邦題:「日本からの手紙」)(2010年、The Resurgence Trust 「Resurgence & Ecologist magazine」262号) "GOOD-BYE OWNERSHIP MATERIALISM AND MONETIZATION IN LIFESTYLES - A new era dawning in Japan" (邦題:「ようこそ! 3脱の時代へ」)(2012年、Routledge 「Growth in Transition」) "Life Beyond Growth" (邦題:「経済成長の向こうにあるもの」)(共著 [アラン・アトキンソン]、2012年、ISIS Academy)</p> <p>著書： 『朝2時起きで、なんでもできる!』(2001年、サンマーク出版) 『地球のなほし方』(共著 [ドネラ・H・メドウズ、デニス・L・メドウズ]、2005年、ダイヤモンド社) 『もっと使いこなす! 「システム思考」教本』(共著 [小田理一郎]、2010年、東洋経済新報社) 『「定常経済」は可能だ!』(共著 [ハーマン・デイリー]、2014年、岩波書店) 『レジリエンスとは何か一何があっても折れないこころ、暮らし、地域、社会をつくる』(2015年、東洋経済新報社) 『地元経済を創りなおす一分析・診断・対策』(2018年、岩波書店) 『アニマルウェルフェアとは何か一倫理的消費と食の安全』(2018年、岩波書店) 『ぶれない軸をつくる東洋思想の力』(2018、光文社新書) 『プラスチック汚染とは何か』(2019、岩波ブックレット) 『好循環のまちづくり!』(2021年、岩波書店) 『ブルーカーボンとは何か一温暖化を防ぐ「海の森」一』(2022年、岩波ブックレット) 『答えを急がない勇気 ネガティブ・ケイパビリティのススメ』(2023年、イースト・プレス) 他、多数</p> <p>学位： 東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了 (修士 (教育心理学))</p>
専任	教授	副学長	大滝 精一	<p>東北大学大学院博士課程を修了後、専修大学経営学部講師、助教授を経て、東北大学経済学部助教授、教授、同大学院教授を務める。東北大学では30年余りにわたり「経営政策」、「市場戦略」などを担当。この間300名近くの学部ゼミ生をはじめ、多くの卒業生・修了生を社会に送り出す。大学での研究・教育活動の傍ら、地方自治体の経済政策や行政改革の支援に取り組むとともに、非営利組織にも積極的に参加し、せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、公益財団法人地域創造基金さなぶり理事長などを務める。ほかに日本放送協会 (NHK) 経営委員、個人情報保護委員会委員などを歴任。</p> <p>専攻分野： 経営政策、地方創生、イノベーション、行政改革</p> <p>受賞歴： 第11回日本新事業創出大賞最優秀賞・経済産業大臣賞 (支援部門) (2016) (公益財団法人 日本ニュービジネス協議会連合会)</p> <p>主な研究業績・著書： 『金融とコンサルティングの組織』(第一法規、1989年) 『事業創造のダイナミクス』(白桃書房、1989年) 『ニュービジネス白書 1992』(東洋経済新報社、1991年) 『中小企業の経営戦略』(総合法令出版、1992年) 『ニューリーダーの組織論』(泉文堂、2002年) 『大学発ベンチャー企業とクラスター戦略』(学文社、2005年) 『ケースに学ぶ経営学 (新版)』(有斐閣、2008年) 『緊急提言 日本を救う道』(日本経済新聞出版社、2011年) 『The Dynamics of Regional Innovation: Policy Challenges in Europe and Japan, World Scientific』(Wspc、2012年) 『経営戦略 (第3版) - 論理性・創造性・社会性の追求』(有斐閣、2016年)</p> <p>学位： 東北大学大学院博士課程単位取得退学 (修士 (経済学))</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
専任	教授	副学長	森 健太郎	ケンブリッジ大学物理学部卒。ボストンコンサルティンググループ (BCG) マネージング・ディレクター & シニア・パートナーを経て、2022年1月よりシニア・アドバイザーに就任。Consumer Practice Group (消費財・流通・運輸の専門グループ) の元日本リーダー。マネジメントチームの一員としてPeople Team (人事) を長年にわたり担当。 2022年大学院大学至善館の教授に着任。 若い起業家の応援を通じて日本を元気にしたいとの思いから、ベンチャー企業の支援も行っている。 専攻分野： 経営戦略、事業戦略、企業変革、ビジネストランスフォーメーション 学位： ケンブリッジ大学物理学部卒業 (物理学士)
専任	教授		宇佐美 潤祐	東京大学経済学部卒業後、東京海上にて企業営業を経験。留学 (ハーバード大学ケネディ大学院政策学修士、アーサー・D・リトル経営大学院MBA (首席)) を経て戦略コンサルティング業界に。13年在籍したBCGでは組織プラクティスの日本の責任者として人材組織変革の新領域の開拓をリード、リーマンショック後のシグママックスのターンアラウンドに参画し上場の基盤を構築、ファーストリテイリングでは柳井社長直轄の経営者育成機関FRMIC (Fast Retailing Management and Innovation Center) の担当役員を4年間務め経営者育成改革を主導、アクセンチュアでは人材組織変革グループのジャパン・リードを務めた。 専攻分野： リーダーシップ開発 受賞歴： Global Organization Award (BCG 2008): 戦略を超えた人材組織変革の新領域開拓への貢献を認められて、グローバル組織プラクティスにおいて表彰 主な研究業績、著書： 「リード・ザ・ジブン〜ユニクロで人材育成の責任者をやってみた。」(東洋経済新報社 2020年1月) 「AIと人間の協働が成長の鍵」(ハーバードビジネスレビュー・オンライン2018年7月) 「Living Organization: 自己変容する組織」(ハーバードビジネスレビュー・オンライン 2017年12月) 「ユニクロに学ぶ経営者人材の育て方」(ダイヤモンド・ハーバードビジネスレビュー 2017年4月号) 「BCG流組織変革の手法 Vol.3 求心力とオーナーシップを両立させる」(Think! 2006年10月) 「なぜ改革は挫折するのか〜チェンジモンスター (日本版)」(2001年12月 BCG 共著) 学位： 東京大学経済学部卒業 (学士 (経済学)) ハーバード大学ケネディ大学院政策学修士 (修士 (政策学)) アーサー・D・リトル経営大学院 (MBA/首席)
専任	教授		瀬谷 啓介	博士 (システムエンジニアリング学)。修士 (物理学)。『深層学習教科書 ディープラーニング G検定公式テキスト』、『アジャイルソフトウェア開発の奥義』、『C++ のからくり』、『まるごと学ぶ iPhone アプリ制作教室』(以上、SBクリエイティブ)、『DSP プログラミング入門』(技術評論社)、『ゼロから学ぶロボット製作教室』(日経 xTECH) など、技術関連の著書・翻訳書多数。日本テキサス・インスツルメンツ半導体グループ技術主任、日本AMD次世代製品開発センター部長、フィルモアアドバイザー執行役員・CTOなどを歴任。小型飛行機免許所有・米国PMI 認定PMP。 専攻分野： AI (人工知能)、データサイエンス、IoT (半導体)、システムエンジニアリング、物理学 学位： 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 後期博士課程修了 (システムエンジニアリング学博士、理論物理学学士、物性物理学修士)
専任	教授		田村 次朗	慶應義塾大学 法学部卒。 ハーバード・ロー・スクール修士課程修了。アメリカ上院議員事務所客員研究員、ジョージタウン大学ロー・スクール客員教授、世界経済フォーラム (ダボス会議) 「交渉と紛争解決委員会」委員などを歴任。日本における「リーダーシップ基礎」・「交渉学」の研究・教育の開発に取り組んでいる。 近著：『「リーダーシップ基礎」入門』東京書籍、『ハーバード×慶應流 交渉学入門』(中公新書ラクレ) など 専攻分野 経済法、交渉学、リーダーシップ基礎 学位： 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業 ハーバード・ロー・スクール修士課程 修了 (フルブライト奨学金) 慶應義塾大学大学院法学研究科民事法専攻博士課程 修了 (Master of Law 米国)
専任	教授		西 研	1957年鹿児島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、京都精華大学助教授、和光大学教授、東京医科大学教授 (哲学教室) を経て、現職。教育出版小学校国語教科書『広がる言葉』編集委員。Eテレ「100分de名著」では、ニーチェ、ルソー、カントの回を担当。 専攻分野： 1. 現象学: フッサール現象学を「哲学対話と人間科学の方法」として洗練すること 2. 社会哲学: ルソー・ヘーゲルらの社会哲学を「自由な社会の理念」として現代的に再生すること 3. 哲学的人間学: 「支援のための哲学的人間論」を構築すること 学位： 東京大学 (修士)

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
専任	教授		Patrick Newell	<p>・1995年：21世紀のモデルスクールとされる「東京インターナショナルスクール」を共同設立。 ・2008年：日本国内外の思想家・実行者・イノベーターなどを集めてアイデアを共有することを目的としたTEDxTokyo、TEDxYouthとTEDxTeachers（本場米国外で初めて開催されたTEDxイベント）を始動。 ・2012年：21世紀の学習者および主要教育者である保護者の役割と21世紀型学習方法についてまとめた短編ドキュメンタリー映画「21:21」を制作。 ・2014年：「共有する価値のある」、想像以上大きくなるアイデアを探すインスピレーションとなる本『TED Power』を執筆。 ・2015年：『未来を生き抜くスキルはこう育てる』を執筆。 ・2017年：チームと共に日本初となるシンギュラリティ大学ジャパンサミット（SingularityU Japan Summit）を開催 ・2019年：150人以上の方に2030の日本イメージについてインタビュー調査をした『Strategies for keeping Japan #1』を執筆。日本は経済の範囲を超えて、多くの分野で1位になり、いくつかの分野において日本の最新技術が世界にとってロールモデルになるとも考えられるとしている。 ・2022年：OECDが実施する高校生の社会情動的能力に関する調査に係る共同日本担当に就任。 その他、日本の大手企業や団体のアドバイザーを務める。</p> <p>専攻分野： 教育、デザイン、テクノロジー、コミュニケーション</p> <p>主な研究業績・著書： 『TEDパワー 世界と自分を変えるアイデア』（朝日新聞出版、2014年） 『未来を生き抜くスキルはこう育てる』（小学館、2015年） 『日本が「世界一」を守り抜く戦略』（光文社、2019年）</p> <p>学位： オックスフォード・ブルックス大学大学院（Master of International Education）</p>
専任	教授		Peter David Pedersen	<p>1995年～1998年、東京にて中小企業向けの経営セミナー・国際シンポジウム開催に従事。マーガレット・サッチャー、ヘンリー・キッシンジャー、ピーター・ドラッカー、アルヴィン・トフラー、レスー・サローなど政財界の著名人を日本に招聘し、多くの世界的有識者の書籍のライティングも行う。 2000年～2011年、CSR・環境コンサルティングを手掛ける株式会社イースクエアの代表取締役社長を務める。 2013年8月以降、個人事業主として、経営コンサルティング、研修講師、執筆活動などを行っている。 2015年1月、世界の若手リーダー育成を活動テーマとする一般社団法人NELIS（ネリス）を共同創設。 2019年8月より、大学院大学至善館教授</p> <p>専攻分野： 文化人類学、サステナビリティ、サステナビリティと経営、サステナビリティとイノベーション</p> <p>学位： コペンハーゲン大学文化人類学部卒業（人類学士）</p>
専任	教授		八橋 雄一	<p>東京大学経済学部卒業と同時にボストン・コンサルティング・グループ入社。国内では黎明期のコンサルティング業界に飛び込み、業として認知される2000年代半ばまで所属。2001年、東京事務所を歴代最年少パートナーに就任。その後、2007年プライベートエクイティの世界に転身。2007年MKSパートナーズパートナー。2011年ACAシニアアドバイザー。上場株投資と並行してベンチャー投資も実施する等、多くの時間を投資先ベンチャー企業支援に費やす。2015年東京工業大学グローバルリーダー教育院特任教授を経て現職。</p> <p>専攻分野： 経営戦略、新規事業戦略、M&A戦略</p> <p>学位： 東京大学経済学部卒業（経済学士）</p>
専任	教授		山本 美樹夫	<p>富士ゼロックス（株）入社後、総合研究所の研究員として勤務し、技術経営への課題を認識し、A.T. カーニーへ。3年後にテクノロジー・ベンチャーの育成を行うインキュベーターを起業し、5社のベンチャーを育成。その後、A.T. カーニーに復帰し、ハイテクや自動車産業を中心に、プリンシパルとして経営コンサルティングを約16年間（合計約19年間）続けてきた。2018年より、A.T. カーニーはパートタイムとなり、同時に地方創生を推進する政府系企業日本人材機構顧問に就任。地方銀行へのコンサルテーションや国立大学を梃とした地域中堅企業の活性化プログラムに参画。</p> <p>専攻分野： 企業経営、経営戦略、事業創造・イノベーション</p> <p>学位： 東京工業大学工学部金属工学科卒業（金属工学士）、東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程金属工学専攻修了（非金属学修士）、米国 University of Chicago Graduate School of Business Major in business administration（シカゴ大学経営大学院・経営学専攻）修了（Master of Business Administration修士（経営学））</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特命教授	副学長	Nalin Advani	<p>複数のテクノロジー系企業に参加。経営、戦略、監督の各面でWindRiver、イーソル、バルコ、GreyOrange、Cloviaなどの革新的な企業を展開し、ポートフォリオからは2社が上場。現在はBIPROGY株式会社の社外取締役を務める。横浜生まれ、シンガポール国立大学学修士、米国UCLA Anderson School of Management経営学修士号を取得。2001年には(社)横浜青年会議所理事長、2007年にはTIE Japan創業役員、2009年からは横浜インドセンター副会長を務めるなどの活動を積極的に行う。1995年から第三代家元・勅使河原宏先生の下、草月流生け花の研究を始め、現在に至る。</p> <p>その他の所属： 取締役 (社外取締役) BIPROGY株式会社 共同創業者 Entomo Pte Ltd 客員講師 シンガポール国立大学経営学部 会長 TIE日本支部 理事 横浜インドセンター</p> <p>専攻分野： テクノロジー、IoT、ロボット、物流、事業戦略、スタートアップ</p> <p>学位： 米国ローレンス大学 (文学士) 米国UCLAジョン・E・アンダーソン経営大学院 (修士 (経営学)) シンガポール国立大学 (修士 (経営学))</p>
兼任	特命教授		上山 信一	<p>京都大学法学部卒業後、旧運輸省 (現国交省)、プリンストン大学大学院 (公共経営学修士)、マッキンゼー (共同経営者)、米ジョージタウン大学研究教授、慶応義塾大学総合政策学部教授等を経て慶応義塾大学名誉教授。国交省政策評価会座長、大阪府・大阪市特別顧問、愛知県政策顧問、堺市戦略アドバイザーを兼務。アドバンテッジパートナーズ顧問、(株)平和堂社外取締役、(株)スターフライヤー社外取締役。日本行政学会・日本公共政策学会・ビジネスモデル学会理事等を歴任。</p> <p>その他の所属： 慶応義塾大学名誉教授</p> <p>専攻分野： 経営改革、行政改革、都市政策、地域開発、スマートシティ</p> <p>学位： 京都大学法学部卒業、プリンストン大学大学院 (公共経営学修士)</p>
兼任	特命教授		片岡 達矢	<p>立命館大学文学部哲学科卒業後、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社入社。支店長を経て、株式会社TSUTAYAで執行役員商品本部副本部長、株式会社MPDで取締役歴任。株式会社ツタヤオンライン執行役員モバイル事業部事業部長、TCエンターテイメント取締役、株式会社247Music取締役を兼務。</p> <p>2012年より、NPO法人ISLに参画。共同プログラムディレクターとして、経営者育成に従事。同時に、東北未来創造イニシアティブの統括マネージャーとして、地方創生の最前線で、人づくり・まちづくり・産業づくりを実行。気仙沼市、大船渡市の復興アドバイザー就任。</p> <p>その他の所属： 特定非営利活動法人アイ・エス・エル(ISL) 理事長</p> <p>専攻分野： 事業戦略、ビジネスプランニング</p> <p>学位： 立命館大学文学部哲学科卒業 (文学士)</p>
兼任	特命准教授		加藤 佑	<p>株式会社リクルートエージェント (現：株式会社リクルート) などを経て、2015年12月にハーチ株式会社を創業。社会をもっとよくする世界のアイデアマガジン「IDEAS FOR GOOD」を創刊、編集長に就任。2020年より循環経済専門メディア「Circular Economy Hub」、横浜にて「Circular Yokohama」を展開。企業・自治体・大学らと連携しながらサステナビリティ推進、サーキュラーエコノミー移行支援に従事。複数自治体のサーキュラーエコノミーに関するアドバイザーを務める。2023年にB Corp認証を取得。英国ケンブリッジ大学サステナビリティ・リーダーシップ研究所「Sustainable marketing, media and creative」修了。東京大学教育学部卒。</p> <p>その他の所属： ハーチ株式会社 代表取締役 循環未来デザインセンター センター長 一般社団法人日本サステナブルレストラン協会アドバイザー 慶応義塾大学SFC研究所 所員 NPO法人WE21 Japan 監事</p> <p>専攻分野： サステナビリティ、サーキュラーエコノミー、サーキュラーデザイン</p> <p>学位： 東京大学教育学部 (学士) 卒業</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特命准教授		坂野 晶	<p>日本初の「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った徳島県上勝町の廃棄物政策を担うNPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー元・理事長。地域の廃棄物削減の推進と国内外におけるゼロ・ウェイスト普及に貢献。2019年世界経済フォーラム年次総会(通称ダボス会議)共同議長。2020年より一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパンにて循環型社会のモデル形成に取り組む。2021年、脱炭素に向けた社会変革を起こす人材育成プログラムGreen Innovator Academyを共同設立。2023年より株式会社ECOMMITのChief Sustainability Officerに就任。</p> <p>京都大学大学院地球環境学修士。日経ウーマンオブザイヤー2022。慶應義塾大学 SFC研究所 上席所員(2023-)、NHK国際放送番組審議員(2023-)、Innovation for Cool Earth Forum Steering Committee(2024-)、経済産業省「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ 地域循環モデルワーキンググループ 委員(2024-)など。</p> <p>その他の所属： 一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン 代表理事 一般社団法人Green innovation 共同代表 株式会社ECOMMIT 上席執行役員CSO (Chief Sustainability Officer) 循環未来デザインセンター 共同センター長</p> <p>専攻分野： ゼロ・ウェイスト、サーキュラーエコノミー、廃棄物政策、地域資源循環政策</p> <p>学位： 関西学院大学 総合政策学士 京都大学大学院地球環境学舎 地球環境学修士</p>
兼任	特命教授		根来 龍之	<p>京都大学文学部哲学科卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)修了。鉄鋼メーカー、早稲田大学ビジネススクール教授などを経て現職。</p> <p>経営情報学会会長、国際CIO学会副会長、組織学会理事・評議員、ビジネスモデル学会理事、英Hull大学客員研究員、米California大学Berkeley校客員研究員、Systems Research誌Editorial Board、Systems Practice誌International adviser、CRM協議会顧問、経済産業省IT経営協議会委員、会計検査院契約監視委員会委員長、IT Japan Award審査員、自動車工業会JNX運営委員、国際IT財団理事、大学院大学至善館学術顧問などを歴任。経営情報学会論文賞を3回受賞。</p> <p>企業顧問やセミナー講師など、実業界との多様な接点を持つ。</p> <p>その他の所属： 名古屋商科大学ビジネススクール 特任教授</p> <p>専攻分野： 競争戦略、ビジネスモデル、IT経営、プラットフォーム戦略</p> <p>受賞歴： 経営情報学会論文賞(2007)「仕組の過剰自己強化と意図せざる結果」 経営情報学会論文賞(2004)「産業構造のモジュール化が進んだ業界の競争優位の分析」 経営情報学会論文賞(2000)「インターネット・プラットフォームビジネスの産業発展への貢献：情報交換・知識化モデルによる事業分類」</p> <p>主な研究業績・著書： 『ビジネスモデル』(2020年 共著、SBクリエイティブ) 『集中講義：デジタル戦略』(2019年、日経BP社) 『プラットフォームの教科書』(2017年、日経BP社) 『IoT時代の競争戦略分析フレームワーク：バリューチェーンからレイヤー構造化へ』(2016年、編著書、中央経済社) 『ビジネス思考実験』(2015年、日経BP社) 『事業創造のロジック』(2013年、日経BP社) 『プラットフォームビジネス最前線』(2012年 監修・共著、翔泳社) 『CIOのための情報・経営戦略：ITと経営の融合』(2010年 編著書、中央経済社) 『mixiと第二世代ネット革命』(2006年、監修・共著、東洋経済新報社) 『デジタル時代の経営戦略』(2005年、監修・共著、メディアセレクト) 『代替品の戦略』(2005年、東洋経済新報社) 『オープンパートナーシップ経営』(2002年、共著、PHP) 『製薬・医療産業の未来戦略』(2001年、共著、東洋経済新報社) 『経営戦略と企業革新』(2001年、共著、朝倉書店) 『ネットビジネスの経営戦略』(1999年、共著、日科技連) 『ERPとビジネス改革』(1998年、共著、日科技連) 『情報ネットワークの進展と組織革新』(1997年、産能大学通信教育テキスト) 『グループウェアとは何か』(1997年、共著、産能大学通信教育テキスト) 『日経ビジネスで学ぶ経営戦略の考え方』(1993年、共著、日本経済新聞社) 『生産企業の経営』(1990年、共著、海声社)</p> <p>学位： 京都大学文学部哲学科卒業、慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)修了</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特命教授		橋爪 大三郎	<p>1948年、神奈川県生まれ。 1972年、東京大学文学部社会学卒業。 1977年、東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学 1989年、東京工業大学工学部助教授 (社会学) 1995年、東京工業大学工学部教授 (社会学) 1996年、東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻教授 (社会学) 2013年、同退職。</p> <p>専攻分野： 比較宗教社会学</p> <p>主な研究業績・著書： 『言語ゲームと社会理論』(勁草書房、1985年) 『仏教の言説戦略』(勁草書房、1986年) 『はじめての構造主義』(講談社現代新書、1988年) 『世界がわかる宗教社会学入門』(筑摩書房、2001年) 『ふしぎなキリスト教』(講談社現代新書、2011年) 『げんきな日本論』(講談社現代新書、2016年) 『丸山眞男の憂鬱』(講談社選書メチエ、2017年) 『小林秀雄の悲哀』(講談社、2019年) 他多数</p> <p>学位： 東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学 (社会学修士)</p>
兼任	特命教授		三谷 宏幸	<p>東京大学工学部機械工学科卒業後、川崎製鉄(現 JFE スチール)に入社。カリフォルニア大学バークレー校及びスタンフォード大学大学院修士号を取得。その後、BCG、GE 航空機エンジン北アジア地域社長、GE ヘルスケア・ジャパン社長、ノバルティスファーマ社長などを務めたのちオフィス三谷設立。2016年、(株)プランテックコンサルティング会長就任。2019年より、大学院大学至善館の教授に就任。東京大学工学系研究科及びGSMD 非常勤講師。2019年より、ボストンコンサルティンググループ (BCG) のシニアアドバイザー。</p> <p>その他の所属： オフィス三谷 代表</p> <p>専攻分野： 企業経営、経営政策、組織・人材開発</p> <p>主な研究業績・著書： 『世界で通用するリーダーシップ』(東洋経済新報社 2012年)</p> <p>学位： 東京大学工学部機械工学科卒業 カリフォルニア大学バークレー校及びスタンフォード大学大学院修士号 Master of Technology and Engineering Management (米国)</p>
兼任	特任講師		浅井 元規	<p>Texas State University San Marcos, Department of Athletic Training, 学士課程終了後、Christ For the Nations Institute Dallasにて、Certificate of Biblical Foundationを取得。アスリートの治療やリハビリを行うメディカルスタッフとして活動し、2015年にコーチングを始める。プロコーチとして国内外の企業や個人の開発を行いつつ、コーチングスクール「CAM」の日本ディレクターとして、100名以上のプロコーチの育成を行う。</p> <p>人々の人生が、Survive (サバイブ) からAlive (イキイキ生きる) に変化し、生きるの概念が変わる未来を目指して活動している。</p> <p>その他の所属： 株式会社co-ne</p> <p>専攻分野： リーダーシップ育成、関係性育成、コーチング</p> <p>学位： Bachelor of Science, Major in Athletic Training, Texas State University Christ For the Nations Institute Dallasにて、Certificate of Biblical Foundation取得</p>
兼任	特任教授		Sapna Masih Advani	<p>日本とシンガポールを拠点とするリーダーシップと企業文化のコンサルティング会社を創設。C-Suiteエグゼクティブ・コーチング・プラクティスを率い、グローバル・シニア・リーダーと協働し、効果的に変革をリードできるよう支援している。また、複数のビジネススクールと提携し、アジアのビジネス環境に対する理解の強化、その複雑性を理解できるためのイマージョン・プログラムを企画・運営をしている。アジア各地に30年以上住み、働いてきたため、アジア各地のビジネス慣習やリーダーシップ文化について深い経験を持っている。アジアで最も早くからインターカルチャリストとして活躍してきたため、人材の獲得、配置、育成、維持における異文化の側面に根ざしている。成長と変化の激しいアジアの環境でビジネスをリードできるエグゼクティブを数多く輩出することがビジョンである。アメリカ文学の博士号と2つの修士号を取得。エグゼクティブ・コーチの資格を持ち、主要なグローバル・リーダーシップ・アセスメントの提供者でもある。</p> <p>その他の所属： C-Suite Coach, Leadership & Culture Consultant, Academic Program Director</p> <p>専攻分野： Leadership & Culture C-level Executive Coaching Academic Program Design, Delivery, and Facilitation Corporate Leadership and Culture Surveys & Consulting</p> <p>学位： Indore Christian College, Devi Ahilya Vishwavidyalaya (formerly University of Indore) (PhD)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任教授		阿部 暢仁 マッスィミリアーノ	<p>- A.T. カーニー：自動車および近隣業界向け(OEM/Tier1)の戦略、デジタル、マーケティング、M&A関連の経営戦略支援</p> <p>- トヨタ自動車：商品企画(地域コアモデル)およびプロセス・イノベーション</p> <p>- トヨタモーターヨーロッパ：新規事業企画(低価格車および商用車ブランド)、アフターセールスにおける販売店高度化システム開発プロジェクト・マネジメント</p> <p>- ヴレリック経営大学院：マーケティング・マネジメント卒</p> <p>その他の所属： カーニー株式会社 シニアパートナー</p> <p>専攻分野： 企業/事業戦略、マーケティング、デジタル戦略 (自動車業界および近隣業界)</p> <p>学位： ヴレリック経営大学院マーケティング・マネジメント学卒業 (経営学士)</p>
兼任	特任教授		石川 明	<p>1988年 株式会社リクルート社に入社</p> <p>1993～2000年 株式会社リクルート 新規事業開発室マネージャーとして新規事業提案制度「New-RING」の事務局を務めるなど、新規事業開発に従事</p> <p>2000～2009年 オールアバウト社の創業に参加。事業部長、編集長等を務める。2005年にJASDAQに上場。</p> <p>2010年 株式会社インキュベータを起業。大企業を中心に通算で100社・2,000案件・4,000名以上の社内での新規事業起案を支援。</p> <p>著書に「はじめての社内起業」(2015)、「新規事業ワークブック」(2017)、「DeepSkill」(2022)がある。</p> <p>その他の所属： 株式会社インキュベータ、新規事業コンサルタント</p> <p>専攻分野： 事業開発</p> <p>学位： 上智大学文学部社会学科卒業 (社会学士)、早稲田大学ビジネススクール修了 (MBA)</p>
兼任	特任准教授		石原 直子	<p>銀行、コンサルティング会社を経て2001年からリクルートワークス研究所に参画。人材マネジメント領域の研究に従事し、2015年から2020年まで機関誌『Works』編集長、2017年から2022年まで人事研究センター長を務めた。2022年4月、株式会社エクサウィザーズに転じ、はたらくAI&DX研究所所長に就任。専門はタレントマネジメント、ダイバーシティマネジメント、日本型雇用システム、組織変革など。著書に『女性が活躍する会社』(大久保幸夫氏との共著、日経文庫)がある。近年は、デジタル変革に必要なリスクリングの研究などに注力する。慶應義塾大学法学部卒。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央大学ビジネススクール 客員教授 (2021年～2022年) 経済産業省デジタル時代の人材政策にかかわる検討会 委員 (2021年～) 同検討会 まなびプラットフォーム検討分科会 座長 (2021年) 経済産業省他 DX銘柄2022選定委員会 委員 (2022年) 厚生労働省 労働政策審議会 基本政策分科会および人材開発委員会 委員 (2023年～) 等歴任 <p>その他の所属： 株式会社エクサウィザーズ はたらくAI&DX研究所 所長 株式会社リクルート リクルートワークス研究所 客員研究員</p> <p>専攻分野： 人的資源管理論、組織行動論、組織開発論</p> <p>学位： 慶應義塾大学法学部卒業 (法学士)</p>
兼任	特任准教授		犬塚 星司	<p>代表をつとめるKRMK (“クロマク”) は、スタートアップや大企業に対して成長戦略やサービスデザイン/UXデザイン領域のコンサルテーションを行う。博報堂でプランナーやコンサルタント職を経験した後、シリコンバレー発のラグジュアリーファッションECサービスThe RealRealの最高戦略責任者を勤めた。シンギュラリティ大学ジャパンプログラム講師(「デザイン思考」「プロトタイピング」)</p> <p>その他の所属： KRMK ファウンダー</p> <p>専攻分野： デザインシンキング、イノベーション</p> <p>学位： 慶應義塾大学文学部卒業 (文学士)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任教授		岩寄 博論	<p>リベラルアーツと建築・都市デザインを学んだ後、博報堂においてマーケティング、ブランディング、イノベーション、事業開発、投資などに従事。2021年より武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科に着任し、ストラテジックデザイン、ビジネスデザインを専門として研究・教育活動に従事しながら、ビジネスデザイナーとしての実務を行っている。イリノイ工科大学Institute of Design修士課程修了、京都大学経営管理大学院博士後期課程修了、博士(経営科学)。</p> <p>その他の所属： 武蔵野美術大学 クリエイティブイノベーション学科 教授</p> <p>専攻分野： デザインシンキング、イノベーション、マーケティング</p> <p>学位： 国際基督教大学卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了 イリノイ工科大学Institute of Design修士課程修了 (Master of Design Methods) 京都大学経営管理大学院博士後期課程修了、博士 (経営科学)</p>
兼任	特任教授		岩永 泰典	<p>日本債券信用銀行(現あおぞら銀行)、パークレイズ・グローバル・インベスターズ・ジャパン(現ブラックロック・ジャパン)を経て、2014年7月にアムンディ・ジャパン入社、CIOを務めたのち、2020年7月よりCRIOとして同社の責任投資を統括。一橋大学法学部卒業、ペンシルバニア大学MBA、EHDECビジネススクールPhD(ファイナンス)、CFA協会認定証券アナリスト</p> <p>その他の所属： アムンディ・ジャパン株式会社</p> <p>専攻分野： アセットプライシング、行動ファイナンス</p> <p>学位： 一橋大学法学部卒業、ペンシルバニア大学MBA EHDECビジネススクールPhD(ファイナンス)</p>
兼任	特任准教授		Van Wasseem Daniel	<p>楽天や戦略コンサルティングファームを経てBCGに入社。デジタル機能を活用した戦略を中心に、アジア、ヨーロッパ、中東での幅広い経営コンサルティング経験を持つ。人工知能、統計学、機械学習などを専門とし、様々な業界のプロジェクトに従事。</p> <p>その他の所属： ボストンコンサルティンググループ</p> <p>専攻分野： 人工知能、統計学、機械学習</p> <p>学位： Radboud大学(オランダ)物理学・天文学物理学学士、上智大学国際政治学修士</p>
兼任	特任准教授		Jeff Volinski	<p>カーニーでは、クライアントを変革の重要な時期に導くことに専念しています。ヘルスケア、消費財、ハイテク分野のリーダーに対し、国境を越えた成長と変革を含む様々な戦略的課題についてアドバイスを行っています。米国、英国、シンガポール、中国、日本に在住、勤務した経験があり、異文化間の交流や業務にも積極的に取り組んでいます。世界とその中での私たちの役割に強い好奇心を持ち、幅広い人生経験を追求してきており、全人格リーダーを育成するためのアプローチに反映されています。コロンビア大学ビジネススクールでMBA、The School of International and Public AffairsでMIA、東京大学でMPPを取得しています。カーニー入社前は、航空宇宙エンジニア、教師、開発実務家として活躍。語学を学ぶこと、アウトドアを楽しむこと、瞑想と科学を通して心を理解することをこよなく愛しています。</p> <p>その他の所属： A.T.カーニー株式会社 プリンシパル</p> <p>専攻分野： 企業・スタートアップの成長戦略 / ヘルスケア・コンシューマーテクノロジー / 国際ビジネス / マインドフル・リーダーシップ</p> <p>学位： コロンビア大学ビジネススクール (MBA) The School of International and Public Affairs (MIA)、東京大学 (MPP)</p>
兼任	特任准教授		Lai Yong Wong	<p>企業のサステナビリティ推進コンサルタント・人材育成講師として、グローバル課題・社会課題への深い洞察や語学力を活かし、企業や教育機関に対してサステナビリティ取組の助言をしている。また、社会に深い関心のあり、自ら行動を起こす青少年を育成するため、マレーシアにてFirst Penguinを設立。大学院大学至善館Center for Sustainability and Innovation副センター長。Penang Women's Development Corporationのボードメンバー、長田広告株式会社のアドバイザーも務めている。日本の保育士、キャリアコンサルタントの国家資格も取得。2016年、日本の内閣府による「アジア・太平洋輝く女性」の1人に選出された。マレーシア、ペナン州生まれ・在住、16年間日本在住経験。</p> <p>学位： 慶應大学大学院経営管理研究科卒業(経営学修士) 横浜国立大学大学院卒業(経営学博士)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任准教授		小川 達大	<p>東京大学法学部卒。新卒でCDIに入社。ベトナム法人立ち上げを経て、CDI Asia Business Unit (ASEAN) のDirectorに就任。2023年より代表取締役役に就任。 経済同友会 日本ASEAN委員会の副委員長 (2023年度)</p> <p>その他の所属： 株式会社コーポレートディレクション (CDI) 代表取締役</p> <p>専攻分野： 経営戦略、事業戦略、企業変革、M&A、グローバルマネジメント</p> <p>学位： 東京大学法学部卒業 (法学士)</p>
兼任	特任教授		小田 理一郎	<p>米国オレゴン大学経営大学院MBA (国際ビジネス専攻)。 サステナビリティを志向する変化の担い手であり、日本において「システム思考」、「学習する組織」など変化のための方法論の普及・実践の推進に務める。外資系企業でマネジメント職および環境NGO運営を経験した後、2005年にチェンジ・エージェント社を設立。サステナビリティ、社会課題解決分野における能力開発とプロセスデザインに関連するサービスを提供する。セクターを超えた共通価値創造および個人・組織・組織間レベルでの能力開発に焦点をあてる。システム思考及び学習する組織のワークショップを3,000回以上実施し、企業、自治体、JICA、国際機関、NGOの50,000人以上の能力開発に携わる。直近10年間で、途上国を中心とした女性サステナビリティ・リーダー向け能力開発プログラムの責任者として、30カ国48人の育成に携わっている。 東京工業大学大学院でのキャリアアップMOTプログラム、産総研デザインスクールほか、これまでに東京大学、関西大学、東北大学などで非常勤講師を務めた。</p> <p>その他の所属： 有限会社チェンジ・エージェント 代表取締役社長兼CEO 有限会社イーズ 取締役 東京工業大学大学院キャリアアップMOT 非常勤講師 スウェーデン非営利組織Global Associations of SoL Communities Treasurer 米国非営利組織International Network of Resource Information Centers Vice President</p> <p>専攻分野： 多国籍企業経営、サステナビリティ、組織学習・組織開発、リーダーシップ、ファシリテーション、システム思考、シナリオ・プランニング、インパクト・マネジメント、意思決定論</p> <p>主な著書・訳書： 『「学習する組織」入門』(英治出版) 『もっと使いこなす! 「システム思考」教本』(東洋経済新報社、共著) 『企業のためのやさしくわかる生物多様性』(技術評論社、共著) 『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか』(東洋経済新報社、共著) アダム・カヘン著『それでも、対話をはじめよう』(英治出版、翻訳・解説) アダム・カヘン著『共に変容するファシリテーション』(英治出版、翻訳・日本語版序文) デイヴィッド・ストロー著『社会変革のためのシステム思考実践ガイド』(英治出版、監訳) アダム・カヘン著『敵とのコラボレーション』(英治出版、監訳) ドネラ・H・メドウズ著『世界はシステムで動く』(英治出版、解説) アダム・カヘン著『社会変革のシナリオ・プランニング』(英治出版、監訳) ピーター・センゲ著『学習する組織』(英治出版、共訳) ジョン・スターマン著『システム思考』(東洋経済新報社、共訳) など。</p> <p>学位： 米国オレゴン大学経営大学院MBA (国際ビジネス専攻)</p>
兼任	特任准教授		越智 美由紀	<p>北イリノイ州立大学コミュニケーション論修士課程修了後、パーソンマスタラ社、日本モトローラ社を経て、1998年に(株)シンクボイス設立。コーチング、リーダー育成研修、働く同志がお互いを深く理解し合う対話のファシリテーションを軸に、人と組織の豊かな可能性の開花を支援している。エグゼクティブ・コーチングにおいては日本の草分けの一人であり、2000年よりプロコーチ養成機関CTIジャパンの立ち上げにも参画。マッキンゼー社のアフィリエイトアドバイザーを務め、企業変革時における対話の場作りを支援している。</p> <p>その他の所属： 株式会社シンクボイス代表取締役 プロフェッショナル・コーチ 慶應義塾大学大学院経営管理研究科講師 (非常勤)</p> <p>専攻分野： コーチング、コミュニケーション、リーダーシップ開発</p> <p>主な研究業績・著書： 著書： (著書)「コミュニケーションで影響力を高める」(2004年、産業能率大学) (訳書)「コーチングバイブル」(第一版2002年、第二版2008年、東洋経済新報社、共訳) (グラフィック・レコーディング)「オーガニック・イノベーション」(2016年、ペーリンガーインゲルハイムジャパン(株)) (C D)「Nothing Like YOU」(2019年、SV Record)</p> <p>学位： 北イリノイ州立大学コミュニケーション論修士課程 (修士)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任准教授		川崎 健史	<p>東京大学理学部卒。新卒でNTT東日本に入社後、エンジニア、経営企画、新規事業開発を経験。米国Duke大学でのMBA取得を経て、2012年より経営コンサルティング業界に転身。米系戦略コンサルティングファームにおいて、日本及び東南アジアの情報通信・メディア業界向けに、幅広いCXO 이슈を担当。2021年7月より現職。</p> <p>その他の所属： PwC コンサルティング合同会社 パートナー</p> <p>専門分野： 全社戦略、事業構造改革、組織管理、デジタルトランスフォーメーション</p> <p>学位： 東京大学理学部卒業 デューク大学フュークア経営大学院終了 (MBA)</p>
兼任	特任教授		北神 圭朗	<p>1967年2月1日生まれ、生後9ヶ月で父親の仕事の関係で渡米 (ロサンゼルス) 1992年3月 京都大学法学部 卒業 1992年4月 大蔵省 入省 1996年6月 米国ジョージタウン大学 国際関係論修士課程 留学・修了 1998年6月 総理秘書官補 (通称) 2005年9月 第44回総選挙にて初当選 2007年1月 World Economic Forum (ダボス会議) で「Young Global Leader 2007」選出 2009年8月 第45回総選挙にて2期目当選 2011年4月 中央大学大学院公共政策研究科 客員教授、同年9月 経済産業大臣政務官 2012年7月 内閣府大臣政務官 (兼務)、同年10月 内閣総理大臣補佐官 2014年4月 同志社大学大学院 嘱託講師 (総合政策科学研究科) 2016年4月 比例代表 (近畿) 繰り上げ当選 3期目 2017年10月 第48回衆議院議員総選挙 落選 2018年4月 京都先端科学大学 特別招聘客員教授 2021年 第49回総選挙にて4期目当選</p> <p>学位： 京都大学法学部卒業、米国ジョージタウン大学 国際関係論修士課程 留学・修了 (Master of Science in Foreign Service 米国)</p>
兼任	特任准教授		工藤 七子	<p>大学卒業後、日系大手総合商社勤務を経てアメリカの大学院で国際開発学の修士号を取得。大学院在学中、インパクト投資ファンドのパキスタン事務所でのインターンに参加。帰国した 2011 年より、日本財団へ入会し、日本ベンチャーフィランソロビー基金、ソーシャルインパクトボンド事業、GSG国内諮問委員会など様々なプロジェクトに携わる。2017年4月に日本財団からスピンアウトする形でSIIFを設立し常務理事に就任、インパクト投資や社会起業家支援など事業全般の企画・推進を統括。</p> <p>その他の所属： 一般財団法人社会変革推進財団 常務理事 一般財団法人Soil 理事</p> <p>専攻分野： インパクト投資、インパクトビジネス</p> <p>学位： 東京都立大学法学部卒業 (法学士) 米国Clark University International Development (MA)</p>
兼任	特任教授		Sakthi Kumar	<p>現在、東洋大学学際・融合科学研究科教授。Mahatma Gandhi University of Kerala (インド) で1989年に学士号、1991年に修士号、1998年に博士号を取得し、2020年にはテキサス大学オースティン校大学院にて人工知能と機械学習を学ぶ。2023年に大学院大学至善館にてのMBAを取得した。博士号取得後には、Indian Institute Of Technology Delhi (インド) の物理学薄膜研究室に研究員として勤務。2001年、日本学術振興会特別研究員としてバイオ・ナノエレクトロニクス研究センター (東洋大学) に参加。癌細胞へのナノ薬剤配送、ナノテクノロジー及び生体材料への人工知能 (AI) の応用といった研究分野に興味を持つ。</p> <p>3冊の著書のほか、155以上の査読付き研究論文 (総説論文を含み)、多くの書籍の章 (21) を執筆しており、9つの特許を保有している。加えて、数多くの会議を開催し、30以上の国際セミナーにて招待講演を行った実績を持つ。彼の指導の下、博士号を取得した学生 (23名) は、IUPAC賞、Tazilla Prank賞、ベストポスター賞、プレゼンテーション賞など多くの国際的な賞を受賞している。2012年には生体高分子分野における業績が認められ高分子学会 (日本) よりアジア優秀賞を受賞しており、Garshom Media GroupからはEducation Excellence Award (2018年) と、STE International Achiever Award (2020年) をそれぞれ受賞している。現在、Scientific Reports (Nature Publishing Group) とFrontiers in Nanotechnologyの編集委員を務める。2006年より日本学術振興会インド同窓会 (IJAA) (www.indianjpsalumni.org) の会長を務める。</p> <p>その他の所属： 東洋大学 学際・融合科学研究科 教授</p> <p>専攻分野： 癌細胞その他の疾患に対するナノ薬剤配送、ナノテクノロジーにおける人工知能の応用、セラノスティクス分野の研究開発、ナノ医療機器、量子ドット</p> <p>学位： M. G. University, Physics (Ph. D.) Univ. Texas, Austin, AI & ML (PGP) Shizenkan University, Design and Leadership for Societal Innovation (MBA)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任教授		Jesper Koll	<p>2015年7月1日、ウィズダムツリー・ジャパンの最高経営責任者 (CEO) 就任。これまで20年にわたり、米大手投資銀行のJ.P.モルガンやメリルリンチなどにおいてチーフストラジスト、調査部長を歴任し、常に日本におけるトップクラスのストラテジスト、エコノミストとして認識されてきた。高い分析力と洞察力が評価され、日本政府の各種諮問委員会のメンバーを務めた実績を持ち、経済同友会の数少ない外国人メンバーでもある。また、日本語による著書には、「日本経済これから黄金期へ」、「平成デフレの終焉」「本当は世界がうらやむ最強の日本経済」がある。1986年来日当初は、国会議員の補佐を務めていた。ジョンズ・ホプキンス大学の高等国際問題研究大学院にて国際経済学修士を取得。東京大学・京都大学での研究員の経験がある。</p> <p>その他の所属： ウィズダムツリー・ジャパン株式会社 シニアアドバイザー</p> <p>専攻分野： 経済学、投資分析</p> <p>学位： ジョンズ・ホプキンス大学 高等国際問題研究大学院 (国際経済学修士)</p>
兼任	特任准教授		小島 隆史	<p>株式会社コーポレイトディレクション (CDI) に参画後、世界銀行グループ・国際金融公社 (ワシントンDC)、AFRYマネジメント・コンサルティング (本社ストックホルム (旧Pöyry, 本社ヘルシンキ)、在シンガポール) への出向、CDIパートナー兼 CDI Asia-Pacific (シンガポール) ディレクターを経て、株式会社経営共創基盤 (IGPI) に参画、現在に至る。</p> <p>慶應義塾大学法学部卒業、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院 (SAIS) 国際関係論修士 (MA)、ペンシルヴァニア大学ウォートン・スクール経営学修士 (MBA)</p> <p>その他の所属： 株式会社 経営共創基盤 (IGPI) ディレクター 学校法人グロービス経営大学院 教授 ソーシャルベンチャー・パートナーズ (SVP) 東京 パートナー</p> <p>専門分野： 経営戦略の立案に関わるコンサルティング</p> <p>学位： 慶應義塾大学法学部卒業 ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院 (SAIS) 国際関係論修士 (MA) ペンシルヴァニア大学ウォートン・スクール経営学修士 (MBA)</p>
兼任	特任教授		Paul Thurston	<p>早稲田大学大学院会計研究科および青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科の特任教授を務める。公認会計士。デロイト (1990-2009年)、EY (2009-2019年) で30年以上の会計・監査の実務経験を有し、パートナーも務める。IPO、クロスボーダー・オフアリング、その他の戦略的取引を専門とする。得意とする業界は、テクノロジー、商社、自動車、製薬会社など。</p> <p>その他の所属： 公認会計士 早稲田大学大学院会計研究科 特任教授 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科 特任教授</p> <p>専攻分野： 会計、監査、IPOやクロスボーダー・オフアリングを含む資本市場取引</p> <p>学位： MIAMI University, Accountancy (Bachelor of Science)</p>
兼任	特任教授		佐藤 克宏	<p>日本開発銀行 (現 日本政策投資銀行) やマッキンゼー・アンド・カンパニーのパートナーを歴任。早稲田大学大学院経営管理研究科教授などを兼任。</p> <p>その他の所属： 早稲田大学大学経営管理研究科 教授 京都大学経営管理大学院 非常勤講師</p> <p>専攻分野： ファイナンス、経営戦略</p> <p>学位： 慶應義塾大学法学部法律学科卒業 スタンフォード大学大学院修士課程修了 (M.Sc.) 京都大学大学院博士後期課程修了 (博士 (経営科学))</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任准教授		佐藤 潤一	<p>環境、気候変動問題の解決を目指し企業や市民社会のシステミックな変革について取り組むChange Maker。</p> <p>米国大学卒業後は、国際環境NGOでの15年のキャリアを経て、アウトドア企業パタゴニア日本支社の環境・社会部門のシニアディレクターとなる。 現在は、アジアの気候変動政策推進を目指す財団であるTara Climate FoundationのJapan Program Director。また、気候変動分野で活躍できる人材の育成を担う一般社団法人Japan Climate Allianceの代表理事。</p> <p>その他の所属： Tara Climate Foundation, Japan Program Director 一般社団法人 Japan Climate Alliance, 代表理事</p> <p>専攻分野： 環境、気候変動、企業論、市民社会、NGO</p> <p>学位： 米国Fort Lewis College Liberal Studies卒業 (Bachelor of Arts (B.A.))</p>
兼任	特任教授		塩川 哲也	<p>1983年京都大学法学部卒業後、三井物産入社。食料本部にて飲料用アルコール、糖蜜、ブドウ糖等の輸出入・三国間業務、新規事業開発に携わり、米国研修員を含め34カ国を往訪。イラン向け注射用ブドウ糖の輸出など現業を通じ“現場主義”をとことんたたきこむ。企業経営に興味をもち、1996年ハーバードビジネススクールにてMBA取得。帰国後、三井物産食料本部の投資戦略リーダーとして関係会社の統括管理とM&Aを行う。2000年よりGE CapitalにてM&Aに従事、2006年GE Fleet Services 取締役副社長として営業とマーケティング担当、2007-2019年11月Xerox Corporation在日代表、富士ゼロックス監査役を兼任、富士ゼロックスの経営管理全般に携わる。日本企業とグローバル企業双方での経験を生かし、グローバル企業経営とリーダーシップのあり方を体得しつつ、次世代の全人格リーダー育成に強い関心を抱き、2017-18年至善館設立に携わり、現在に至る。</p> <p>その他の所属： 元Xerox Corporation 在日代表 元富士ゼロックス監査役 和以美株式会社 社外取締役 NASCインターナショナル株式会社 顧問</p> <p>専攻分野： 事業戦略、グローバル経営</p> <p>学位： 京都大学法学部卒業、ハーバード大学経営大学院 (経営学修士 MBA)</p>
兼任	特任講師		下川 祐佳	<p>2018年以来、慶應義塾大学のグローバルリサーチインスティテュートで所員として活動し、田村次朗教授と共に交渉学やリーダーシップ基礎に関する研究を指導。過去には、Milken Instituteでは同機関の日本におけるネットワーク拡大に貢献し、主にアジア地域の機関投資家、慈善家、ファミリーオフィス、そして若手起業家との関係を強化し、戦略的パートナーシップの構築に従事。Milken Institute以前は、Bank of America証券の投資銀行部門を経験。ニューヨーク州弁護士。</p> <p>その他の所属： 慶應リーダーシップセンター</p> <p>専攻分野： 交渉学及びリーダーシップ基礎</p> <p>学位： 慶應義塾大学 (修士)、University of California, Berkeley (修士)</p>
兼任	特任教授		瀬口 清之	<p>キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹 ISL主幹事、ISL設立発起人 大学院大学至善館 特任教授</p> <p>1982年東京大学経済学部卒業後、日本銀行入行。1991年4月より在中国日本国大使館経済部書記官、帰国後1995年6月より約9年間、経済界渉外を担当、2004年9月、米国ランド研究所にてInternational Visiting Fellowとして日米中3国間の政治・外交・経済関係について研究。2006年3月より北京事務所長。2009年3月末日本銀行退職後、同年4月よりキヤノングローバル戦略研究所研究主幹、杉並師範館塾長補佐 (2011年3月閉塾)。2010年11月、アジアブリッジ (株) を設立。2016年4月、国連UNOPS中国・アジア太平洋食品安全プロジェクト・シニアアドバイザー。</p> <p>著書に、「日本人が中国を嫌いになれないこれだけの理由」(2014年)、日本経済研究センター編「中国新常態に挑む 長期安定の道標」第2章「中国経済の現状と将来のリスク」(2016年)、瀬口清之ほか著「中国資本市場の現状と課題<日中資本市場協力研究会レポート>」(2013年)、真家陽一編著「中国経済の実像とゆくえ」第1章(2)「中国経済は内陸部主導の内需拡大を持続」(2012年)、中国社会科学院日本研究所 王洛林/張季風編「日本経済と中日経済貿易関係」(8)「円高の経験から見た人民元為替レート改革」(2011年)</p> <p>学位： 東京大学経済学部卒業 (経済学士)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任教授		藺田 綾子	<p>1988年に女性を中心にしたマーケティング会社クレアンを設立。1995年から、サステナビリティ・CSRビジネスをスタート。これまでに、大手小売グループ、大手住宅・食品メーカー、ほか多数の企業のサステナビリティ経営コンサルティングやCSR・統合報告書の企画制作を支援。2015年以降は、SDGsに関するコンサルティングも多く支援している。</p> <p>環境省気候変動キャンペーン関連事業推進委員会委員、環境省 持続可能な開発目標 (SDGs) ステークホルダーズ・ミーティング構成員などを務める。</p> <p>その他の所属： 株式会社クレアン 代表取締役会長 公益財団法人みらいRITA 代表理事 三菱地所株式会社 社外取締役 株式会社ロッテ 社外取締役 一般社団法人ALLIANCE FOR THE BLUE 理事 NPO法人 日本サステナブル投資フォーラム 理事</p> <p>専攻分野： CSRコンサルティングやCSR・統合報告書の企画制作</p> <p>学位： 甲南大学文学部社会学科卒業 (学士)</p>
兼任	特任准教授		田野 邦彦	<p>ミドルセックス大学大学院 (イギリス・ロンドン) MFA演劇・演出コース修了後、2002年4月より青年団演出部に所属。演出家としての活動のほか、2010年以降はワークショップ・デザイナーとして広い社会テーマと演劇をかけたあわせたワークショップの企画・実施および人材育成事業を、全国各地の自治体、教育機関や企業等との協働で数多く手掛けている。</p> <p>演出家としての代表作に、シェイクスピア作『十二夜』『夏の夜の夢』、マシュー・ダンスター『ここからは山がみえる』、ガリー・マクネア『ギャングラーのための終活入門』、オペレッタ『メリー・ウィドウ』、オペラ『声』、ブロードウェイミュージカル『GYPSY』などがある。</p> <p>その他の所属： 演出家、ワークショップデザイナー 洗足学園音楽大学ミュージカルコース准教授 青年団演出部 / RoMT NPO法人PAVLIC理事長</p> <p>専攻分野： 演劇教育</p> <p>学位： ミドルセックス大学大学院 (イギリス・ロンドン) MFA演劇・演出コース修了 (MFA) Middlesex University Theatre Directing (Master of Fine Arts)</p>
兼任	特任准教授		田淵 良敬	<p>日商岩井株式会社 (現双日) を退職後、LGT Venture Philanthropy (リヒテンシュタイン公爵家設立インパクト投資機関)、ソーシャル・インベストメント・パートナーズ、SIIF等で国内外のインパクト投資に従事。グローバルな経験・産学ネットワークから世界的な潮流目線での事業コンセプト化、経営支援、海外パートナー組成を得意とする。カルティエ・ウーマンズ・イニシアチブ東アジア地区審査員長</p> <p>その他の所属： 株式会社Zebras and Company 共同創業者 / 代表取締役 Tokyo Zebras Unite 共同創設者 / 代表理事 米国Zebras Unite理事</p> <p>専攻分野： ゼブラ企業、インパクト投資、グローバルビジネス、事業コンセプト化、経営支援</p> <p>学位： IESE Business School General Management (MBA)</p>
兼任	特任教授		田村 晃一	<p>Japan Activation Capital顧問、一橋大学・ICS MBAプログラム客員教授を含め、日米欧亜数社の取締役・顧問を務める。米国公認会計士 (NY州)。22-25年までCDP Worldwide Japanの代表理事、及びTOTOのアドバイザーを務める。18-24年まで、EYにおいて Global Executive Committeeメンバー、EY投資銀行事業アジア太平洋地域統括などを歴任。それ以前は、08年よりDeloitte (東京, LDN, SG) シニアパートナーとして、投資銀行・M&A事業統括、全社経営執行メンバー、グローバルアカウント統括を歴任。それ以前は、01年よりCarlyle, CDP Capital 等で日米Private Equity 投資事業に従事。キャリアを92年にPrice Waterhouse NY (現PwC)(NY, 東京) でスタートし、ビジネスアドバイザー・M&Aコンサルティング業務に従事。一方で、リーダーシップの育成や人材開発にも深い関わりを持っており、Deloitte University Dean等で、幅広い「人」と「社会」の持続可能な成長に貢献している。</p> <p>その他の所属： Japan Activation Capital, Hitotsubashi ICS MBA Visiting Professor, TRY Group Holdings, Genpact, REVA, Owner's, Global Signature, Circles, Charon Finance, Deloitte SEA, Social Innovation Partners</p> <p>専攻分野： 人財育成、リーダーシップ育成</p> <p>学位： Hofstra University (学士/Bachelor of Business Administration)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任准教授		坪内 南	<p>東京都出身。マルチステークホルダーによる地球規模課題の解決および人材育成に取り組む。</p> <p>2000年慶應義塾大学総合政策学部卒業。マッキンゼー・アンド・カンパニー、難民を助ける会アフガニスタン事務所、東京大学先端科学技術研究センター勤務などを経て、2006年にマサチューセッツ工科大学建築計画学部都市計画学科修士課程修了。その後、世界経済フォーラム(ダボス会議)ジュネーブ本部、パレーン経済開発委員会に参画。</p> <p>2011年の東日本大震災を機に、被災地の若者を対象としたリーダー育成に取り組む「ビヨンドトゥモロー」を設立。後年、様々な社会経済的な要因で逆境を経験した全国の若者に対象を拡大し、約10年間で700名のリーダー候補となる若者を育成・輩出。直近では、イェール大学ワールドフェローとして、戦禍に見舞われたり人権を剥奪されるなどの困難を経験した世界の若者が社会を変革すべく力を発揮する取り組みのプロセス立案を行った。</p> <p>日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2013 準大賞 秋山記念生命科学振興財団 2013 年新渡戸南原賞</p> <p>その他、政府・公的機関の委員などを歴任。</p> <p>その他の所属： イェール大学 Maurice R. Greenberg ワールドフェロー 米日財団 Scott M. Johnson フェロー 一般財団法人教育支援グローバル基金 ビヨンドトゥモロー 創設者</p> <p>専攻分野： 地球規模課題、民間外交、グローバルリーダーシップ、非営利経営、ファンドレイジング、復興政策</p> <p>学位： 慶應義塾大学総合政策学部卒業(総合政策学士)、マサチューセッツ工科大学建築計画学部都市計画学科修士課程修了(都市計画学修士) Massachusetts Institute of Technology, School of Architecture and Planning, Department of Urban Studies and Planning (Master in City Planning)</p>
兼任	特任准教授		西谷 剛史	<p>大学卒業後、朝日監査法人(現 有限責任あずさ監査法人)に入社、監査及び各種財務アドバイザー業務に従事。</p> <p>同監査法人を退社後、2年間の米国大学院留学を経て、株式会社経営共創基盤(IGPI)に入社。事業戦略及び財務戦略の立案及び実行、事業再生案件、資金調達支援等の業務に従事する。</p> <p>IGPI退社後は、上場企業含む民間企業や地方自治体、学校法人等に向けて、自らが代表を務める会社や社外役員(取締役・監査役)の立場から、経営陣に伴走するスタイルで経営課題の解決を支援し、事業価値を高めることを主たる業務としている。</p> <p>民間企業、日本公認会計士協会等にてセミナー開催の実績多数。 慶應義塾大学経済学部卒 テキサス大学オースティン校経営学修士(MBA)</p> <p>その他の所属： 日本CGA株式会社 代表取締役 公認会計士</p> <p>専攻分野： 会計学</p> <p>学位： 慶應義塾大学経済学部卒、テキサス大学オースティン校経営学修士(MBA)</p>
兼任	特任教授		西山 茂	<p>早稲田大学政治経済学部卒。ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA修了。監査法人トーマツ、(株)西山アソシエイツにて会計監査・企業買収支援・株式公開支援・企業研修などの業務を担当したのち、2002年より早稲田大学。2006年より現職。大学院では会計・財務分野の研究・教育を担当。学術博士(早稲田大学)。公認会計士。上場公開企業の社外役員を歴任。</p> <p>その他の所属： 早稲田大学大学院経営管理研究科(ビジネススクール) 教授</p> <p>専攻分野： 会計学、企業財務論</p> <p>学位： 早稲田大学政治経済学部卒業(経済学士) ペンシルバニア大学ウォートンスクール(MBA)</p>
兼任	特任教授		野呂 理	<p>三重県出身、慶應義塾大学理工学部卒業後、日東紡績入社。新規事業の関係会社にて生産技術と商品開発に携わる(1985-1989)。アーサー・D・リトル(ジャパン)に転職し、研究開発戦略を中心とした経営コンサルティングに従事し、企業の組織変革にコンサルタントとして携わる(1989-1996)。フランクリン・コヴィー・ジャパンにて「7つの習慣」などのリーダーシップ研修の講師を務めた後(1996-2002)、独立しフリーの研修講師として、独自プログラムを開発し、講師に専念する。キャリア開発の「セルフエンパワメントWS」と、リーダーシップ開発の「コエンパワメント・リーダーシップWS」を主たるプログラムとして、顧客組織の人材育成の一翼を担っている。</p> <p>その他の所属： 野呂理事務所 代表</p> <p>専攻分野： リーダーシップ、エンパワメント、キャリア開発</p> <p>学位： 慶應義塾大学理工学部卒業(工学士)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任准教授		半田 勝彦	<p>博報堂/博報堂DYメディアパートナーズを経て、ドリームインキュベータ執行役員に就任。2024年4月株式会社知開を起業。 博報堂DYグループでは主に新規事業開発を担い、東京ガールズコレクション運営のF1メディアを社内起業し代表取締役就任。 ドリームインキュベータでは投資部門、及びコンサルティング部門を担当。投資先の経営にも参画（ピークス代表取締役/ボードウォーク取締役） 慶応義塾大学大学院経営管理研究科修士（経営学）</p> <p>その他の所属： 株式会社知開 代表取締役社長 株式会社ドリームインキュベータ フェロー 株式会社モブキャストホールディングス 取締役</p> <p>専攻分野： ビジネスプロデュース（経営戦略、新規事業開発、マーケティング等）</p> <p>学位： 中央大学理工学部（精密機械工学学士） 慶応義塾大学経営管理研究科（経営学修士）</p>
兼任	特任教授		平井 正修	<p>臨済宗国泰寺派全生庵 住職 1967年生まれ 東京都出身 1990年 学習院大学法学部卒 1990年 静岡県三島市龍澤寺専門道場入山 2001年 同下山 2003年 全生庵第七世住職就任 2016年 日本大学客員教授就任 現在、安倍首相や中曽根元首相などの政界・財界人が多く参禅する全生庵にて、坐禅会や写経会など布教に努めている。</p> <p>その他の所属： 臨済宗国泰寺派全生庵住職</p> <p>主な著書： 著書： 『最後のサムライ山岡鉄舟』（教育評論社）、『坐禅のすすめ』（幻冬舎）、『花のように、生きる』（幻冬舎）、『13歳からの仏教塾』（海竜社）、『三つの毒を捨てなさい』（KADOKAWA）など多数</p> <p>学位： 学習院大学法学部卒業（法学士）</p>
兼任	特任教授		平田 オリザ	<p>1962年東京生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。1998年『月の岬』で第5回読売演劇大賞優秀演出家賞、最優秀作品賞受賞。2002年『上野動物園再々々襲撃』（脚本・構成・演出）で第9回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。2002年『芸術立国論』（集英社新書）で、AICT評論家賞受賞。2003年『その河をこえて、五月』（2002年日韓国民交流記念事業）で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス国文化省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞。大阪大学COデザインセンター特任教授、東京藝術大学COI研究推進機構特任教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐、京都文教大学客員教授、(公財)舞台芸術財団演劇人会議理事長、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみマネージャー、日本演劇学会理事、(財)地域創造理事、豊岡市文化政策担当参与、岡山県奈義町教育・文化まちづくり監。</p> <p>その他の所属： 劇作家・演出家 芸術文化観光専門職大学学長 青年団主宰 こまばアゴラ劇場芸術総監督 城崎国際アートセンター芸術監督</p> <p>専攻分野： 演劇教育</p> <p>学位： 国際基督教大学教養学部卒業（教養学士）</p>
兼任	特任教授		福原 正大	<p>慶応義塾大学卒業後、東京銀行（現：三菱UFJ銀行）に入行。フランスのビジネススクールINSEAD（欧州経営大学院）でMBA、グランゼコールHEC（パリ）で国際金融の修士号を最優秀賞で取得。筑波大学で博士号取得。2000年世界最大の資産運用会社バークレイズ・グローバル・インベスターズ入社。35歳にして最年少マネージングダイレクター、日本法人取締役に就任。2010年に、「人を幸せにする評価で、幸せをつくる人を、つくる」ことをビジョンにIGSを設立。2017年9月にハーバードビジネススクールのケースにIGSが選出。</p> <p>その他の所属： Institution for a Global Society株式会社 代表取締役社長/Founder 慶応義塾大学経済学部特任教授（People Analytics）</p> <p>専攻分野： 統計学、意思決定、デジタルトランスフォーメーション</p> <p>学位： 慶応義塾大学経済学部卒業、博士（経営学）、欧州経営大学院（INSEAD）経営管理学専攻修士課程修了（MBA）、HEC(パリ) 国際金融専攻修士課程修了、筑波大学ビジネス科学研究科（企業科学専攻）博士後期課程修了博士（経営学）</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任准教授		藤井 剛	<p>慶應義塾大学 大学院理工学研究科卒業後、現デロイトトーマツコンサルティングに入社。2014年にパートナー就任。モニター デロイトの立ち上げを経て、2018年よりジャパンリーダーを担当。幅広い業種において、経営戦略・事業戦略、経営変革、イノベーション創出等のコンサルティングに従事。特に経営戦略と社会価値創出の融合(CSV)というテーマに10年以上に渡り取り組む。主な著書に「CSV時代のイノベーション戦略」(2014年)、「SDGsが問いかける経営の未来」(2018年)等 2020年にISLに参画し、SLPファカルティを担当。2023年より至善館に参画。</p> <p>その他の所属： 富士通株式会社 SVP, Co-Head of Strategic Planning (Uvance)</p> <p>専攻分野 経営・事業戦略、経営変革、イノベーション、CSV/サステナビリティ戦略</p> <p>学位： 慶應義塾大学大学院理工学研究科卒業 (電子工学修士)</p>
兼任	特任教授		Everett Kennedy Brown	<p>アメリカ・ワシントン生まれ。写真家、執筆家。文化庁長官表彰(文化発信部門)受賞者。元EPA通信社日本支局長。ブラウズフィールド設立者。東京大学・先端科学技術研究センター非常勤講師(2019年-2020年)。 『Kyoto Journal』寄稿編集者。諸省庁の文化推進カウンセラーを多く務める。 観光庁のインバウンドのスローガン"Japan, Endless Discovery"を提案。 日本の深層文化の面影を江戸時代の技法「湿板光画」で全国の地方文化を掘り起こし、国内外の美術館に展示、収蔵されている。</p> <p>その他の所属： 一般社団法人 京都会所 代表理事 日本文化デザインフォーラム幹事 IBM有識者会議「伊豆会議」幹事</p> <p>専攻分野： 日本学/比較文化, 芸術</p> <p>主な研究業績、著書： 『俺たちのニッポン』(小学館)、『日本力』(松岡正剛氏との共著、PARCO出版)、『Japanese Samurai Fashion』(赤々舎)、『失われゆく日本』(小学館)、『先祖返りの国へー日本の身体感覚一文化を読み解く』(晶文社)『京都派の遺伝子』(淡交社)ほか多数</p> <p>学位： Antioch College, Yellow Springs, Ohio, U.S.A. B.A. Foreign Civilizations and Languages</p>
兼任	特任教授		松江 英夫	<p>早稲田大学大学院公共経営研究科修了、デロイト トーマツ グループ 執行役、経済同友会幹事、「経済・財政・金融・社会保障委員会」委員長、国際戦略経営研究学会 理事、フジテレビ報道番組「Live News α」レギュラーコメンテーター 企業の経営戦略及び組織変革から経済政策に関する政策提言に至るまで、ミクロからマクロまで幅広く精通し、産・官・学・メディアにおいて豊富な経験を有する。経産省、国交所、内閣府等で各種研究会の政策委員を歴任。</p> <p>その他の所属： 社会構想大学院大学 教授 事業構想大学院大学 客員教授 中央大学ビジネススクール 大学院戦略研究科 客員教授</p> <p>専攻分野： 経営戦略、組織変革、経済政策、サーキュラーエコノミー</p> <p>主な研究業績、著書： 『価値循環の成長戦略 人口減少下に“個が輝く”日本の未来図』(企画・監修・共著)(日経BP 2024年) 『価値循環が日本を動かす 人口減少を乗り越える新成長戦略』(企画・監修・共著)(日経BP 2023年) 『「脱・自前」の日本成長戦略』(新潮社 2022年) 『両極化時代のデジタル経営—共著：ポストコロナを生き抜くビジネスの未来図』(ダイヤモンド社 2020年) 『自己変革の経営戦略—成長を持続させる3つの連鎖』(ダイヤモンド社 2015年)他多数</p> <p>学位： 早稲田大学大学院 公共経営研究科 修了 (公共経営学修士)</p>
兼任	特任教授		松田 恵美子	<p>身体感覚教育研究者。日々の動作や日本文化における型などを感覚からひもとき、日常生活に活かせる知恵や技として活用することで、自分の身体を自分で育む姿勢を指導。学校教育における教材化の研究協力や企業研修、助産師研修、僧侶とのコラボ講座などに携わる。</p> <p>その他の所属： 身体感覚教育研究会主宰/武蔵野美術大学非常勤講師/講座を築地本願寺 銀座サロン/横浜umiのいえ/銀の鈴/Be Nature School/等にて開催。</p> <p>学位： 東海大学文学部広報学科広報メディア課程 (文学士)</p>

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任教授		宮台 真司	1959年宮城県生まれ。東京大学文学部卒。 東京大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。社会学博士。昭和62年東京大学教養学部助手、平成2年東京外国語大学専任講師を経て、平成5年東京都立大学助教授。平成17年首都大学東京都市教養学部都市教養学科准教授を経て、平成19年より教授。 社会システム理論を専門分野とする一方、テレクラ・コギャル・援助交際など、サブカルチャーの研究でも第一人者となり、「朝まで生テレビ」など、テレビ・ラジオでも活躍、マスコミの話題を集める。 専攻分野： 社会学 学位： 東京大学文学部卒 東京大学大学院社会学研究科博士課程満期退学（社会学博士）
兼任	特任准教授		宮林 隆吉	電通R&D部門のシニア・ディレクターとして、国内外のテクノロジー企業への投資・事業開発に従事。その後、データ・テクノロジーに特化したVC創業を経て、国内最大VCのジャフコに参画。社外では事業構想大学院大学教員・日本マーケティング学会理事を務め、実務とアカデミアの橋渡しを行う。著書「経営戦略としての異文化理解」「マーケティング実践テキスト」(JMAM)。一橋大学博士（経営学）、イエセ経営大学院（MBA）。 その他の所属： IMD Country Associate Director 専攻分野： グローバル・リーダーシップ、アントレプレナーシップ、ベンチャー投資、マーケティング 学位： 慶應義塾大学／経済学／学士（経済学） イエセ経営大学院（スペイン）／経営学／修士（MBA） 一橋大学／経営学／博士（DBA）
兼任	特任教授		森本 典繁	1964年生まれ。1987年慶應義塾大学理工学部卒業後、日本IBMに開発エンジニアとして入社。メインフレーム用のディスプレイ端末、液晶ディスプレイ、ThinkPadの開発等を経て、1993年、マサチューセッツ工科大学大学院に留学。メディアラボ研究員を経て、1995年EE&CS修士修了、同年 IBM東京基礎研究所へ転入。その後、IBMビジネスコンサルティング出向、米国IBMワトソン研究所赴任を経て、2009年IBM東京基礎研究所長に就任。2015年、IBMアジア太平洋地区最高技術責任者、2017年日本IBM研究開発統括執行役員、2021年常務執行役員 最高技術責任者兼研究開発を経て2023年より現職。 その他の所属： 日本IBM 副社長執行役員 最高技術責任者兼 研究開発担当 経済産業省半導体デジタル戦略会議委員 SMBCグループ テクノロジー・アドバイザー テンプレ大学日本校 外部理事 他 専攻分野： テクノロジー、イノベーション、研究開発戦略 学位： 慶應義塾大学理工学部卒業、マサチューセッツ工科大学EECS大学院修了（修士）
兼任	特任教授		山根 智之	2010.5 HEC Paris 経営大学院卒業（MBA 取得） 2010.5 株式会社 力の源カンパニー入社 2012.11 執行役員 2018.4 経営戦略本部 本部長 2020.4 取締役、株式会社渡辺製麺取締役（現任） 2020.6 取締役CSO 2021.7 CHIKARANOMOTO GLOBAL HOLDINGS PTE. LTD. Director 2023.4 株式会社 力の源ホールディングス代表取締役社長兼CEO 専攻分野： 事業計画、事業開発、国際事業、戦略 学位： フランスHEC経営大学院卒業（MBA）

区分	職位	職名	氏名	学位及び業績 (2025年9月1日時点)
兼任	特任教授		吉成 雄一郎	<p>1996年 三菱商事入社、宇宙航空機部配属。人工衛星ビジネスに従事。2002年 三菱商事100%出資の位置情報サービス社内ベンチャー ジクー・データシステムズ(株)を立案、設立、出向(7年)。2009年 本店復帰、金属グループへ異動。資源(原料炭)事業に従事。オーストラリアMitsubishi Development社に赴任(企画担当副社長)。BHPとの原料炭JV事業BMA(BHP Mitsubishi Alliance)で鉱山・港湾開発やJV運営全般を担当。2014年 本店復帰、チリ・エスコンディエーダ銅鉱山担当次長。2016年 シリコンバレー支店に赴任(イノベーション&デザイン思考担当ディレクター)。スタートアップ投資(CVC)、イノベーション活動・新規事業創造、デジタル・トランスフォーメーション(DX)、デザイン思考トレーニングを主導。スタートアップ企業の取締役に陪席経験からスタートアップ企業の経営や脱炭素分野での活動からEV・バッテリー産業動向に造詣深い。本業の傍ら、社内外でデザイン思考のコーチング(東京大学、早稲田大学ビジネススクール、ソフトバンク、東京海上HD等)を1,700名以上に行ってきた他、イノベーションやアントレプレナーシップの講義(早稲田大学大学院、京都大学経営管理大学院、名古屋商科大学ビジネススクール、明治大学ビジネススクール等)、研修講師やパネリスト(イノベーション教育学会等)、ハッカソンでの審査員(小松製作所等)なども行っている。</p> <p>その他の所属： 三菱商事株式会社 産業DX部門 新規事業開発担当 早稲田大学グローバル・ストラテジック・リーダーシップ研究所 招聘研究員 博士(社会科学) MBA 修士(工学)</p> <p>専攻分野： 経験：宇宙ビジネス、デジタルビジネス、資源ビジネス、スタートアップ投資(CVC)、M&A、新規事業創造 専門分野：イノベーション、アントレプレナーシップ、デザイン思考、デザイン経営、国際ビジネス、総合商社論</p> <p>学位： 早稲田大学(社会科学博士)、早稲田大学(MBA)、早稲田大学(工学修士) Stanford University d.school Design Thinking Bootcamp for Executive修了 Stanford University Graduate School of Business The Corporate Entrepreneur 修了 Stanford University Graduate School of Statistics Data Mining and Analytics (STAT202) 単位取得</p>
兼任	特任准教授		David Lau	<p>早稲田大学ビジネススクール准教授、公認会計士。監査、企業開示、ファイナンス、ガバナンスの分野を研究テーマとし、Journal of Corporate Finance, Journal of Banking & Finance, Meditari Accountancy Research, International Journal of Auditing, Journal of The Japanese and International Economies, Accounting Research Journal, Pacific Accounting Reviewなどの著名誌で学術研究論文を発表しています。</p> <p>その他の所属： 早稲田大学</p> <p>専攻分野： Accounting and Corporate Finance</p> <p>学位： オークランド大学ビジネススクール卒業(Ph.D. (Accounting))</p>
兼任	特任教授		Tish Robinson	<p>ティシィ・ロビンソンは、管理職によるチーム内の人間関係の対立問題の解決を支援します。</p> <p>コンフリクトへの介入や多様なチームを率いることに焦点を当てた教育も行っていて、日経新聞出版社から多様なチームを率いるための本を近日出版予定。また、リーダーのためのコンフリクト・トランスフォーメーションに関する大規模公開オンライン講座を作成中。ベルリッツ、デンソー、電通、ゴールドマン・サックス、JTB、三井物産、みずほフィナンシャルグループ、日本経済新聞社、三井住友銀行、ヤマハミュージック、ヤマハ発動機などの企業で20年以上研修会やコンサルティングを行い、紛争解決に関心を寄せています。300時間以上のメディエーター・トレーニングを受け、コンフリクト・ファシリテーションの修士号を取得した公認メディエーターです。</p> <p>マサチューセッツ工科大学MITスローン経営大学院でMBAと修士号を、ポモナカレッジで学士号を取得。スタンフォード大学、ハーバード大学、カリフォルニア大学バークレー校、ニューヨーク大学スターンスクール、慶応義塾大学EMBAプログラム、イェール大学グローバル・ネットワーク・オブ・アドバンスト・マネジメントで教鞭を執る。研究論文は、Administrative Science Quarterly, Academy of Management Perspectives, Human Resource Management Reviewなどに掲載され、Academy of Management Richman Prize, Academy of International Business Farmer Prize, Fulbright Fellowship, Fulbright Hayes Fellowship, Fulbright Faculty Fellowship, Carnegie Bosch Fellowship, 国際交流基金フェロシップ、安倍フェロシップ等の学術賞を受賞している。</p> <p>また、キャロライン・ケネディ大使が任命したフルブライト日米教育委員会委員、エーザイ社外取締役、米国商工会議所会頭、労働政策研究・研修機構研究員、ピーター・センゲ主宰の日本組織学習学会をリッチ・オダ氏と日本で共同設立した経歴もある。</p> <p>その他の所属： 一橋大学ICS</p> <p>専攻分野： 対人関係のコンフリクトへの介入</p> <p>学位： マサチューセッツ工科大学MITスローン経営大学院(MBA/修士号) ポモナカレッジ(学士号)</p>